

来るとき、住むとき、暮らすとき

# 佐世保時間

2016

佐世保はね  
アレがおいしいんですよ。

佐世保観光名産大使 株式会社ジャパネットたかた 前社長 高田明さん

長崎県佐世保市

## アンケートに答えて 佐世保の魅力を GET してください。

「佐世保時間」を読んでいただいた方の中から、抽選で佐世保の良さを体感していただくための、宿泊券や特産品をプレゼントします。ハガキかEメールでアンケートに答えてご応募ください。

1  
名様



① 佐世保宿泊券  
2,000ポイント(4枚)

ハウステンボスや中心部など、市内全域のホテル・旅館で使える宿泊券です。  
(券1枚で5,000円相当の宿泊代金として使用できます)  
※対象施設で使用できます。

(公財)佐世保観光コンベンション協会  
☎0956-23-3369

ふるさと納税カタログP87~P90をご覧ください

2  
名様



② 長崎和牛サーロイン  
ステーキ

(サーロイン肉約180g 2枚)

恵まれた自然環境の中で育てられた長崎和牛は、肉のうま味を堪能できる赤身と、サッと溶ける上質な脂身のバランスが特長。どんな焼き方にも適した最高級のお肉です。

肉の山頭 ☎0956-46-1778

2  
名様



③ 東浜一風干し

佐世保・東浜地区の加工会社7社が伝統の製法を受け継ぎ、豊富な漁場から水揚げされたさまざまな魚を一枚一枚丁寧に手作りした干物です。旬の魚をセットしてプレゼントします。

※魚の種類などは指定できません。

4  
名様



④ 味カレーショコラと  
スナック詰め合せ

佐世保の駄菓子の定番、味カレーにチョコレートをコーティングした斬新なお菓子。今回は味カレーなど各種スナック菓子をセットしています。懐かしくもクセになる味をお楽しみください。

大和製菓 ☎0956-33-1155

※写真はイメージです。

how to

## 応募方法

ハガキまたはEメールに次の①~⑦を明記して、下記の宛て先にお送りください。

- ①ご希望のプレゼント1つ ②本誌を読んだ感想またはご意見 ③郵便番号・住所
- ④お名前 ⑤年齢 ⑥性別 ⑦電話番号

**ハガキ** 〒857-8585 住所不要 佐世保市役所秘書課「佐世保時間」事務局

**Eメール** [hishok@city.sasebo.lg.jp](mailto:hishok@city.sasebo.lg.jp) (件名に「佐世保時間プレゼント」と記入してください)

応募は1人1通まで。発表は発送(11月下旬予定)をもって代えさせていただきます。

**締め切り** 11月9日(水)※ハガキは当日消印有効。

平成28年10月1日発行

発行：佐世保市総務部秘書課広報係 〒857-8585 長崎県佐世保市八幡町1-10  
TEL 0956-24-1111 FAX 0956-25-2184 Eメール [hishok@city.sasebo.lg.jp](mailto:hishok@city.sasebo.lg.jp)

制作：(有)エスケイ・アイ・コーポレーション 〒857-0822 佐世保市山祇町19-13  
TEL 0956-31-5656 FAX 0956-31-3407

ここは九州・長崎の西端  
佐世保。

街並みを見下ろす高層ビルはないけれど  
海と街を見下ろせる家があります。

大都市のようなきらびやかさはないけれど

思い立ったらすぐ  
海にも山にも行くことができます。

ネイビーたちが楽しみ方を教えてくれた  
音楽がいま街に根付き

日本に 世界に  
誇れる仕事をしている人も  
たくさんいます。

そして自慢なのは  
新鮮でおいしい食材が  
簡単に手に入ること。

海があつて  
街があつて  
山があつて  
毎日おいしいものが食べられる。

ここに  
あなたの幸せがあるかもしれません。

## CONTENTS

プロローグ	2
海も山もすぐそこ	4
国境を越えなくても USAを感じられる街	6
ディープな夜の過ごし方	7
今日のご飯何にしゅう?	8
させぼの食卓	9
佐世保育ちのアーティスト 前川清さんに聞く	10
特集インタビュー ジャパネットたかた前社長 高田明さん	11
佐世保になおって来られた人たち ビストロさやま 佐山和貴さん	14
金崎靴修理屋 金崎智之さん・恵さん	16
花農家 浦裕晴さん・梨絵さん	
海上自衛隊 後藤洋志さん・加奈江さん	17
自動車学校教官 富永基裕さん・美知代さん	
佐世保出身のアーティスト が多い訳 スターライトプロダクション	18
開発レンジャー しんいちろう 大和製菓	19
させぼ×しごと① トモハウス 松本智さん	20
させぼ×しごと② ジャパンアクアテック 松尾重巳さん	21
こがんです!佐世保	22
させぼ暮らしを始めよう	23



# 海も山もすぐそこ



佐世保港を眼前に臨むショッピングモール「させぼ五番街」は、海外からの観光客も多い【佐世保駅から徒歩3分】

街

長崎県佐世保市は、日本地図で見ると九州本土の最西端にある、県北部の中心都市です。人口は約25万人と県内では二番目に多い中核市。大きすぎず、小さすぎない「コンパクト」なこの街には、市街地ならではの便利さと、田舎暮らしの心地よさの両方があります。



直線距離で日本最長級の長さを誇るアーケード街【佐世保駅から徒歩8分】



海を眺めながらBBQも楽しめる西海国立公園白浜キャンプ場【佐世保駅から車で30分】

遊

馬とのふれあいが楽しめる「えぼし高原ホースパーク」【佐世保駅から車で25分】



九十九島の生物やクラゲ・イルカに会える九十九島水族館「海きらら」【佐世保駅から車で15分】



車で15分

大自然

まちなかから  
ちよつと行けば



波穏やかな九十九島の海は、全国からカヤッカーが集まる。市内には鹿子前(かしまえ)、小佐々(こささ)、鹿町(しかまち)の3カ所にカヤックの拠点がある

海と山が近接した複雑な地形の佐世保は、市内のどこに住んでいても、豊かな自然が手の届く場所にあります。市街地に住みながら、週末は自然の中で思いっきり遊び、散歩や趣味を楽しむ。もしくは、海をそばで、里山で、離島で自然とともに暮らす。そのどれもが一つの都市の中で実現できる場所は、全国的にも珍しいかもしれません。

フェリーで



宇久島  
五島列島にある宇久島は、佐世保港からフェリーで2時間ほどの離島。大浜海水浴場(写真)にはエメラルドグリーンの海が広がる

島



黒島天主堂(国重要文化財)  
隠れキリシタンの島といわれた九十九島の一つ「黒島」は、本土からフェリーで40分

悠

俄ヶ浦トレイル  
九十九島と佐世保港、二つの海に囲まれた俄ヶ浦半島は、古くからの佐世保の暮らしが凝縮されたような場所。地元の人たちが建てた道標を道案内に、ゆったり歩くのも楽しい



ハウステンボス  
年間パスポートを持っている市民も多く、イベントや季節の花々を眺めながらの散歩が楽しめる



ゴルフ場  
休日は緑に癒やされながらスポーツも。ゴルフ場は市内に4カ所あり、どこからでもアクセスしやすい



異文化交流は特別なことじゃない

# 国境を越えなくても USAを感じられる街

米海軍基地がある佐世保では、アメリカ文化が街に溶け込んでいます。それは人や言葉だけでなく、飲食店や衣料品店、恒例のお祭りだつてアメリカンモード。日本にいなから、少しだけ国境を越えたような感覚が味わえます。日本人とのカップルや夫婦も多く、市民にとっては「国籍は違えどみな佐世保人」という感覚です。



## アメリカンフェスティバル

音楽ライブやスポーツ大会など、国籍を超えて楽しめる日米交流イベント。期間中は、会場となる佐世保公園から、米軍基地内のニミッツパークに入ることもでき、アメリカの空気が感じられます。



## FESTIVAL

しばらく休止されていたアメフェスは2015年に復活!(ニミッツパークへの入場は身分証の提示が必要)



自然とホスピタリティ  
豊かなこの街で  
子どもたちを育てたい

友人を通して佐世保で知り合ったというポーブさんご夫妻、結婚後は転勤で、一度はアメリカへ戻ったものの、ご主人の希望で再び佐世保へリターン。  
「日本食や温泉が恋しかったようで、主人の方が佐世保に戻りたいと言いつつ、その後、ご主人のレナードさんはネイビーをリタイアし、基地内の一般の会社に転職。現在は九十九島の眺望が素晴らしい船越町に家を建て、テラスから見える海と山に心癒やされる日々を送っているそうです。  
「自然の美しさや人の優しさは、決してお金では買えない。佐世保で暮らすことを選んだのは、そんなホスピタリティの精神があるところ」とレナードさん。家族四人の幸せがここにあります。



レナードさん・舞さん  
幸太郎くん・春喜くんのポーブ家



# ディープな夜の過ごし方

戦後、外国人向けのバーやキャバレーが多かった佐世保は「ジャズの聖地」として、当時は全国から二百人以上を超えるジャズマンが集ったといわれます。それから半世紀以上が経った今でも、週末になると音楽好きが集まり、バーでの生演奏が繰り広げられています。ライブハウスに行かなくても、グラス片手にジャズセッションが楽しめる。実に贅沢なひとときです。

## JAZZ



## ジャズマンが佐世保に集結 佐世保 JAZZ

毎年秋に開催しているジャズイベント。誰もが熱いジャズの音色に酔いしれます。

## WINE BAR

### 佐世保市民は ワイン好き

年中ワイン会が行われている街、佐世保。シニアエイジの騎士の称号を持つ方が代々続いています。乾杯はシャンパンという人も多く、魅力的なワインバーもたくさんあります。



Wine Bar すぎmoto  
☎0956-22-2098  
18:30-24:00 日曜休

シニアソムリエ  
杉本政勝さん



ライブハウスなどではあり得ない、この近過ぎる距離感。全身でビートを感じる臨場感は、一度体験すると癖になるはず。

深い時間に食べたくなる

## 飲んだ夜の 稀なグルメはコレ!



ディープな夜を楽しみたいなら、最後までトコトン満喫!



### ハンバーガー

【ブルースカイ】☎0956-22-9031  
20:00頃~深夜2:00頃 日曜休

佐世保バーガーの老舗店。飽きのこない味で、食べやすいよう上下逆さまに出されるのが特徴です。



### あご(飛魚)ラーメン

【あごら〜めん本舗】☎0956-22-2915  
21:00頃~翌朝4:00 日曜休

佐世保で「あご」はトビウオのこと。さっぱりとしたあごだしは、満腹でもべロりとげます。



### 24時間営業喫茶

【ブラック】☎0956-25-2595  
不定休

イカスミを使った真っ黒なカレーで地元では有名な老舗店。24時間営業で、朝カレーも食べられます。

# 今日の「ご飯」 何にしゅらう？

(佐世保弁・何にしよう)



スーパーに行っても、なかなか夕食の献立が決まらない。そんな経験ありませんか。  
佐世保ではこんなとき、「市場」に出掛けるというんです。八百屋や鮮魚店が軒を連ねる、昔ながらの市場街が市内にはまだまだ残っています。街の中心部にある「戸尾市場」や夜明け前から始まる「佐世保朝市」はその代表格。どちらも「市民の台所」と呼ばれ、店を回ると、今日おいしい食材が目飛び込んできます。



戸尾市場のようす

鮮魚店に足を止めると、その新鮮さはもちろん、魚種の多さにも驚かされます。大きい、細長い、赤い、地元の人も半分は名前が分からないほど。

市北部にある「佐世保魚市場」は、西日本最大級の規模を誇る卸売市場。佐世保近海をはじめ五島列島や平戸沖で水揚げされた魚が毎朝ここに集められています。魚の種類が豊富なのは、条件の整った豊かな海漁場に恵まれているからなのです。

港街のイメージが強い佐世保ですが、実は海の幸だけでなく山の幸にも恵まれています。海風吹く西海の大地で育った野菜は、元気で栄養たっぷり。  
市内には生産者直売所が多く点在しているほか、スーパーにも産直コーナーがあるので、地元採れた野菜が簡単に手に入ります。その日の朝から収穫された野菜は、食感もおいしさも、まるで違ってから驚きます。



佐世保は本当に食材に恵まれた土地。だから、調理は最小限でいいのです。下ごしらえも加熱も、使う調味料も最小限。素材そのものをしっかりと味わうことが、佐世保の「一番のこちそう」なのかもしれません。



佐世保は本当に食材に恵まれた土地。だから、調理は最小限でいいのです。下ごしらえも加熱も、使う調味料も最小限。素材そのものをしっかりと味わうことが、佐世保の「一番のこちそう」なのかもしれません。



## これが佐世保っ子のソウルフードだ! させぼの食卓

sasabomeshi



### 家で作る「ちゃんぼん」

定番の家庭料理。野菜がたくさん摂れて、あつという間にできるので、休日に食べるという人も多いかも。スーパーでは専用の粉末スープも売られ、焼きそばもちゃんぼん麺で作ります。

### 「九十九島かき」

「九十九島かき」は濃厚でプリプリの食感! 殻付きを手軽にレンジでチンしたり、BBQスタイルで焼きガキを楽しんだり♪旬の時期にはバケツで売られることも。



### アリマド? ゲンコツ? 「天ぶら」の名前です

佐世保で「天ぶら」は、すり身揚げのこと。名前がユニークで、鮮やかな卵で卵入りは「アリマド」、丸くてゴツゴツしたのは「ゲンコツ」、ギョウザをすり身で包んだ「ギョウザ」等、いろんな天ぶらがあるんです。佐世保のおでんには欠かせない素材!!



### 新鮮な魚で作る「干物」

旨味がギュッと凝縮された干物は、朝食や晩酌にもってこい。お店でも家で手軽な一品です。



朝日食品工業(株)

### あま〜い「豆乳」

九州は醤油やみそが甘いといわれますが、佐世保は豆乳が甘い! 佐世保っ子にとって、お風呂あがりにこれをチューチュー飲むのが至福のひとつ。



### みんな大好き「クールソフト」

佐世保のご当地乳酸菌飲料。ほどよい酸味と甘みが子どもから大人まで大人気。



(有)ミラクル乳業



アリマド (竜眼)

ゲンコツ

まる天 (アジ・ヒレウオ)

あじ天

ギョウザ

### ジャンボシュークリーム



蜂の家

### 「ジャンボシュークリーム」

創業当時から変わらぬ味で、愛され続けているジャンボなスイーツ。クリームの中にはバナナや焼リンゴが入っていてボリューム満点。特製ソースをかけて食べるのも特徴です。10個分の大きさ、直径約21cmの軍艦シュークリームも人気だとか。



日本中を魅了する人物が  
佐世保に住み続ける理由。  
それは実にシンプル

## 特集インタビュー

株式会社A and Live 代表取締役  
株式会社ジャパネットたかた前社長

# 高田 明 さん

高田 明 (たかた あきら)

1948年長崎県平戸市生まれ。71年大阪経済大学経済学部卒業。74年に父が経営する「カメラのたかた」に入社。86年に独立し、佐世保市三川内町に「株式会社たかた」を設立。ラジオ通販を皮切りに業績を伸ばし、99年に「ジャパネットたかた」へ社名を変更。2015年、代表取締役を退任と同時に、「株式会社A and Live」設立。BS番組「おさんぼジャパネット」出演ほか、佐世保の観光名所「九十九島パールシーリゾート」のCMなどに出演。佐世保観光名誉大使。佐世保市在住。

こんなにも老若男女に愛された社長は、そうはいない。小さなカメラ店から、日本の経済界に影響を与えるほどの企業を作り上げ、なおかつその顔と声を、日本全国の人が知っている。高田明さん—その人である。

ラジオ通販からテレビ通販、さらにネット通販と、時代とともに成長し続けた高田さんの会社は、それでも佐世保にあり続けた。一体なぜ…。誰もが思う素朴な疑問を、今回高田さんに聞くことができた。

## 音楽のルーツは米軍基地にあり!? 佐世保育ちのアーティスト 前川清さんに聞く



### Q あなたにとって、佐世保とは？

佐世保は、幼いころから家族全員で過ごした唯一の懐かしい場所です。日野町に住んでいたんですが、僕が3歳の頃に兄貴が亡くなってしまい、可愛がつくれた兄が突然いなくなる体験は、僕にとっても淋しく悲しい出来事でした。

米軍基地があつて、そこで聴いていた洋楽が僕の音楽のルーツ。洋楽のカバーアルバムを2枚リリースできたのも、佐世保で育ったお陰だと思っています。もし、東北とかだったら、吉幾三くんみたいな音楽性になっていたかも(笑)。

#### プロフィール

1948年、佐世保市身69年市内山田洋行グループ「ライブ」のヴォーカルとしてデビュー。現在は今日所属した「A and Live」87年からラジオ番組を毎週2002年番組「ラジオ1」のパーソナリティを務める。2016年5月には洋楽カバーアルバム2枚と「My Favorite Songs」を発売。九州朝日放送、前川清の笑顔まんてん、好き7は現在又々復帰中！  
佐世保観光名誉大使もあつた。

### Q 佐世保の思い出の味を教えてください

#### A1 ブルースカイ

昔からあるハンバーガー屋さん  
※今も人気のお店。深夜まで営業しています。

#### A3 クジラ

カレーの中に入っていたり、ステーキだったり、昔はよく食べていました  
※現在でも専門店があります。

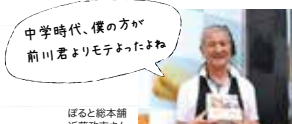
#### A2 一休

僕の小さいころは、一休は誕生日とかのお祝いなんかでしか行けない、ホテルの一流レストランみたいな感覚のお店でした

※現在、レストラン部門はありませんが、看板メニューでもある回転焼きに、今も多くの人が行列を作っています。

#### A4 ぼると

僕と同級生がやっているお店。



中学時代、僕の方が前川君よりモチよかったよね

ぼると総本舗 近藤政寛さん



クッキー生地の間は柚子風味の餡をはさんだ兩重菓子。佐世保のお土産と言え「ぼると」と言う人も多い。

### Q 思い出の場所といえば？

#### A かしえ 鹿子前の海

小学1、2年生のころ、全然泳げなかったせいで、同級生と行ってました。友達はず、泳いでいたんですが、僕は水際にバシャバシャ遊び。当時、水着を持っていなくて、お袋から親父のふんどしを渡されて、とても恥ずかしかったのを思い出します(笑)

### Q 胸に残る思い出の風景はどこですか？

#### A 弓張岳のホテルや展望台から見る九十九島

夕日が素晴らしい。



写真協力：弓張の丘ホテル

### Q 佐世保に帰ってきたときに、必ず食べるものはありますか？

#### A あまいし 天石上海楼のチャンポン

前川さん、あと3年はするけんまた来てくださね



天石上海楼 林さんご夫婦



前川さんの切り抜きも大専に持ってますよ

### Q 佐世保のお土産には、何を買っていきますか？

#### A 新鮮な魚や海産物

### Q 佐世保に一言お願いします！

A 昔からのお店や食べ物、風景がそのまま残っていますよね。時々帰省する僕達にとってはとてもいい場所です。

愛情たっぷりのお言葉をいただきました。前川さん、ご協力ありがとうございました。



本社を東京に移そうと思ったことは一度もありません

Q — ご出身は平戸ですが、そもそも佐世保に来られるとき、なぜ中心部ではなく郊外でカメラ店を始めたんですか？

高田氏 父も平戸でお店を構えて観光写真の仕事をしていたので、同じようにホテルでの宴会写真などを考え、嬉野や武雄にも近い三川内町に店を構えました。

Q — その後どんな会社が大きくなった訳ですが、本社を東京に移そうと思われたことは？

高田氏 いえ、一度もないです。企業として、どうしてもそれが必要であつたらそうしたかもしれませんが、僕の場合全く必要性を感じなかったんです。今の時代、佐世保からでも情報を発信することができます。都会だと通動も時間が掛かって大変ですし、社員やその家族のことを考えても移転という選択肢はありませんでした。

Q — 佐世保が本社というお気持ちに、揺るぎはなかったのですか？

高田氏 だって、イカがおいしいじゃないですか。僕はイカが大好きなんです。佐世保では新鮮で遠く通つたイカを食べられませんよ。しかも安い。東京じゃなかなか食べられないですよ。だから僕はここにいるんです。この話をすると冗談だと思われる方も多いですが、本当なんですよ(笑)。

Q — イカはよく食べに行かれるんですか？

高田氏 そうですよ。遠くから来たお客さんには特に喜んでもらっています。皆さん透明なイカを見てビックリされますよ。それだけじゃなく、タイやアジ、サバ、とにかく海のもの何でもおいしいですよ。漁獲量日本有数のものもいっぱいありますね。もうと世間に知つてもらつていいと思うくらいです。魚だけでなく、海風を浴びた牧草で育つ長崎和牛もおいしいし、野菜も新鮮でおいしいものが気軽に手に入りますよ。

Q — 自慢できることがたくさんありますね。

高田氏 そうですよ。山もあるからゴルフ場も近い。海が近いから釣りだつてできる。その気になれば自給自足ができそうですよ。

まあそこまではいなくても、家庭菜園も楽しめます。とにかく佐世保は暮らしやすいところだと思います。この環境をもつて生かして全国に発信していければ、佐世保の本当の魅力を皆さんに知つただけだと思いますよ。

Q — 買い物に自身で行かれることもありますか？

高田氏 それがね。こんなこと言ったら怒られるかも知れないんですが、。僕ね、物欲がないんですよ。だからほとんど買い物はしないんです。

恐らく日本のセールスマンとして教え切れないほどの商品を販売してきた人が、これである。この正直さと茶目ゝ気が、多くの人に愛される所以だ。

今回のインタビュの舞台は、佐世保駅にほど近い「いけす博多屋」。大きな生簀を構えた店内で、高田さんは本当においしそうにイカの活き造りを味わっていた。普段の高田さんはとても穏やかで落ち着いたトーン。しかも人見知りだという。

インタビュの最中、カウンターでひとりビールと刺身を楽しんでいた年配の男性が高田さんに気付くと「おゝ社長」と声を掛けてきた。「どうも、どうも」高田さんは気さくに握手をし、日本人の人が見慣れたあの笑顔で応えていた。

佐世保市民にとつて、

高田さんが佐世保に住み続けていることも大いなる自慢の一つ。

おいしいイカに感謝だ。



# 佐世保になおって来らした人たち

ここでは実際に佐世保へ移住された5組の方々にお話を聞きました。  
なおって来る＝引っこ越してくる

## CASE 1 大都会から漁師町へ 新鮮な食材にあふれた環境は 自分にも家族にも最高の場所だった

### 元すし店にひよっこりできた フレンチレストラン

本土最西端に程近い、山と海に囲まれた佐世保市北部の鹿町町。漁協もある港のすぐ近くに、一見和風な構えのフレンチレストランがある。「ビストロ さやま」——本州最北端・青森県大間出身の佐山和貴さんが2016年にオープンさせた店だ。

実はここは元すし店。地元の人が気軽に利用していた店で、オープンして間もなくは「カツ丼はできないの?」「出前はないの?」などとよく言われていたそうだ。フランス料理になじみのないこの土地で、なぜ彼は店を始めることになったのか…。

### 都会の限界

高校卒業後、佐山さんはすぐ大阪に出る。料理の専門学校を出て、そのまま食の道に進んだ。有名シェフが揃う店で修行し、一流フレンチ店に

勤務。鹿町出身の妻とはそこで出会い、二人の子どもにも恵まれた。

一流の店には一流が揃う。センスと腕には自信があったが、そこでの競争に疲れていた自分がいた。ふと見渡せば、そびえ立つビル群。子どもころは無邪気に魚を捕まえ、木の実を採り、草原を駆け回っていた。自分の子どもたちはそんな経験のないままに、この夜のない都会で生きていくのか。ふとそう思った。

### なんとかなる

妻の母親が近所のすし店の閉店を知らせてきたのは、ちょうどそのころだった。「あそこならそのままお店ができそうだけどねえ」というならその含みを持った言葉を聞いた佐山さんは、なんと妻に相談する前に移住を決めたそうだ。故郷の大間にも似た鹿町の景色は、佐山さんにはなんの違和感もなかったらしい。

当初は、敷居が高いイメージがあるフレンチは敬遠されると考え、気軽な洋食スタイルでやってきたのは、ちょうどそのころだった。「あそこならそのままお店ができそうだけどねえ」というならその含みを持った言葉を聞いた佐山さんは、なんと妻に相談する前に移住を決めたそうだ。故郷の大間にも似た鹿町の景色は、佐山さんにはなんの違和感もなかったらしい。

### やはり自分のスタイルを

地元の人は思った以上に強敵だった。新しいお店がオープンしたと聞きつけた人たちは、刺身はないのか、すしはないのか、丼はできないのか、はたまたお風呂上がりにアイスははないのかとひよっこり来る。最初はできるだけ要望に応えようと苦戦した。しかし、これでは本来自分の持っている技術を発揮できない。無理に洋食を作っても、自分でも自信のある味には仕上がらない…。

そこで、鮮度のよい魚で作るパテや爽やかな味のピクルス、丁寧に時間をかけて作るスープなどを「これも食べてみて下さい」と提供し続けたのである。すると近所の主婦たちが「これおいしいかね、どうやって作るの?」と興味を持ちはじめ、家で作った野菜や釣ってきた魚を持ってきてくれるようになった。そういう噂は小さな町ではすぐ広まる。車で40分以上かけて市街地まで行かないと食べられないような、いや、市街地でも食べられないような本格フレンチの味が、じわじわと鹿町に浸透し始めたのだ。彼自身、ストレスを感じながら無理に料理を作るより、自分の提供したものを作ろうと心に決めた。



コース料理は昼も夜も1,000円〜 驚くほどリーズナブル



野菜で作ったソースたちが彩を添える



手前をかけて作られた豚肉を煮込んだ料理。 素材の味が生きている



旬の素材を使ったデザート この日は、皮までまるごと桃を使った桃尽くし



### 業者も来ない場所なので、 手作りしかない

佐世保産のあけまき貝。 この日の前菜に使われた

佐山さんの作る料理は、ソースやスープ、ドレッシングなども全て手作り。特に前日から仕込むスープは絶品で、野菜を提供した人も驚くほどである。ここまでこだわると大変だろうと聞く「本当はもう少し手を抜きたいんですけど、食品業者さんも来てくれないような場所なので、しょうがないんですよ」と、優しい笑顔で答えてくれた。

ほんわかした関西弁と人懐っこい笑顔、素材を大事にした手の込んだ料理が、鹿町に新しい風を起こしていることは確かだ。



### DATA

【ビストロ さやま】  
◎佐世保市鹿町下歌ヶ浦 989-6  
☎0956-77-5858  
◎11:00~14:30(OS)  
17:30~22:00(OS21:00)  
◎月曜(応相談)



なおって来た人 「ビストロ さやま」店主・佐山和貴さん

「子どもにも最適な環境で、自分も好きな料理を作れることができる。鹿町は食材も本当に素晴らしい、ここで暮らせている今、幸せだなあと感じています」



鹿町で長い間愛された食堂をやっていたスタッフの桑田さん。今はパートとしてこの店を手伝い、鹿町の人たちとの橋渡し役にもなっている





後藤洋志さんが初めて佐世保を訪れたのは海上自衛隊に入隊した18歳のとき。大分県別府市で育った洋志さんにとって、当時の佐世保は「商店街が元気で、若者が多く活気のある街」という印象だったそう。

CASE 4

このまちが「第二の故郷」に



な お っ て 来 た 人  
後藤 洋志さん 大分県別府市出身  
加奈江さん 佐世保市出身  
楓洋(かみゆき)くん 洋樓(ひいろ)くん  
平成7年に移住。

後藤洋志さんが初めて佐世保を訪れたのは海上自衛隊に入隊した18歳のとき。大分県別府市で育った洋志さんにとって、当時の佐世保は「商店街が元気で、若者が多く活気のある街」という印象だったそう。それから7年の勤務を経て、加奈江さんと結婚。それを機に、母勤務地(定年までの主となる勤務地)を佐世保に指定した。地元を離れることに未練はなかったかと聞くと、「仕事で長く家を空けることが多いので、妻の故郷に住むのがベストだと思いました」ときっぱり。結婚後は転勤や出張が重なり、二人の息子たちとも会えない歳月が続いた。しかし現在は、離れ離れた時間を取り戻すように、マイホームで家族水入らずの暮らしを満喫している。

CASE 2

「佐世保には靴修理屋が少なかもね」今は亡き祖母の言葉が二人の未来を導いた



一言一言考えながら話す姿勢に実直さが表れる金崎智之さんは、地元・福岡や東京、イタリアで仕事をしていた靴職人。福岡でメーカー勤務の傍ら、個人でオーダー靴を受注していた。忙しくなるにつれ「独立」という智之さんの思いはふくらみ、彼の体が心配だった恵さんも賛成だった。しかし、オーダー靴も修理も福岡は激戦区。そんなとき、智之さんの頭にふと、幼い日に聞いた祖母の言葉が浮かんだ。「佐世保には靴修理屋が少なかもね」。



な お っ て 来 た 人  
金崎 智之さん 平成27年に移住。  
共ニ福岡県出身。

子どもの頃、佐世保に住む祖父の家によく遊びに行っていた。改めて佐世保の街を見ても、確かに靴修理屋が少ない。平日でも人の往来はある。「これならやれる」。そう決めてから一か月余り、福岡から通いながら今の店舗を見つけた。智之さんを信じる恵さんには、なんの不安もなかったそう。

セミオーダーの靴づくりも始めたいと思っています



移住を考えたきっかけは、東日本大震災。縁もゆかりもないが、ふと頭に浮かんだ「長崎へ旅行ついでに訪れた。佐世保に近づいたとき、美知代さんの体調が悪かったため、郊外にさしかかったところで引き返すことに」。

CASE 5

関東圏から離れる一つの選択肢。展海峰の眺めが決め手だった。



な お っ て 来 た 人  
富永 基裕さん 平成26年に移住。  
美知代さん 共ニ関東出身。平成26年に移住。  
共ニ関東出身。平成26年に移住。  
基裕さんは共立自動車学校教育。  
美知代さんはSASEBOクルーズバス「海風」アテンダントもつとめる。

関東に戻り、長崎の地図を見てふと気になった。佐世保駅を見ている。果たしてあの光景が本当の佐世保の姿だったのか。今度は佐世保駅を見つめ、再び訪れた。「意外に街」。夫婦で共通した感想だった。そして、佐世保で味わう海の幸のおいさと価格に、自宅から2時間かけて三浦半島まで通うほど海産物好きの二人は、心を奪われた。それからの行動は早かった。市の移住相談窓口に行き、仕事を含みさまざまなことを相談。気に入った物件も見つけた。持ち家を売却するの2年かかったが、最終的にはそれも佐世保の不動産業者が手伝ってくれた。それなりの覚悟をして移ってきたが、それでも住んでみて初めて分かる苦悩がある。しかし、台所からチャリとのおぞく九十九島の景色や、週末に出掛けるドライブが、二人にエネルギーを補充してくれる。今、二人には佐世保での夢がある。二人に後悔はないようだ。

東京で生活していた浦裕晴さんと妻の製絵さん。当時、裕晴さんはITの仕事、製絵さんはブランド店で販売員の仕事をしていた。そんな折、花好きが高じて佐世保の花農家として働き始めた裕晴さんのお母から、一緒に花屋をやらないかと誘われた。

CASE 3

豊かな自然の中にある日々の暮らし。「家族で過ごす時間がたっぷりあります」



「東京は刺激があつていい街なんです。子どもを産み育てるのが想像できなかったんですね。実家の山口でもなく、子育てするなら九州だつて、迷いなく佐世保にやってきました」。



な お っ て 来 た 人  
浦 裕晴さん 佐世保市出身  
製絵さん 山口県出身  
唯紗ちゃん 登真くん  
平成18年に移住。

だが、慣れない土地での初めての子育ては心細く、方言と坂道が多すぎた。今ではすっかり佐世保弁をマスターした製絵さんだが、「はらかいたへ」腹を立てる」という方言を初めて聞いたときは、ナゾでした」と笑う。始めた当初は失敗の連続。「収入の大半が種代等の支払いに消えるため、家計は火の車。貯金を切り崩す日々が続きました」。今では、東京で学んだ製絵さんのフラワーコーディネートセンスと、裕晴さんが作る「都会的な色合いと長持ちする花」が評判となり、ガーベラなど10種類以上の花を栽培。有機肥料を使ったオーガニックフラワーが裕晴さんの自慢だ。最後に佐世保暮らしの良さを尋ねると、「夫婦でいる時間、家族と過ごす時間が長いことが幸せです」。

夫婦で二人三脚、人に愛される花を作っています

佐世保の  
ヒミツ

佐世保出身のアーティストが多い訳  
それは、ココにこの人たちがいるからだだった。



悦子さん

里奈さん



クルーズ船を見送る、未来のアイドルたち

ドーム公演を成功させるほど人氣のAAAのメンバー、末吉秀太。2015ミスユニバース日本代表の宮本エリアナ。最優秀新人賞を受賞したTHE FIRSTのメンバー、井上理香子。そして今や歌に映画にと大活躍の西内まりや。このそろうそろの顔ぶれの共通点がひとつある。それが何を隠そう佐世保に拠点を置く「スターライトスクール出身」ということだ。そこで一体何が行われているのか、その秘密を探ってみた。



※福岡県出身

悦子さんはヴォーカルレッスンを担当。クラスでは、技術よりも自己表現の楽しさ、素晴らしさを伝えていようと感じた。レッスンを後、子どもたちの表情はまるで魔法にかかったように明らかに輝きが増していた。



二人に共通することは、子どもたちへのたつぷりの愛情。「やりたいう気持ち」を上手に育て、やりたくないときはやらなくても良い、二人は言う。「ここで過いして欲しい」と。「ここで学んだことは、芸能界の道でなくとも、必ず何らかの形で役に立つ」と。

彼女たちの下を飛び立ち、現在大活躍している卒業生をどう思うか尋ねてみると「すごいと思うす」と笑ってみせた。彼女たちにとって、現在活躍している卒業生と今ここに通っている子どもたちに、違いはない、どちらも夢を応援すべき存在で、可愛い教え子たちなのだ。



株式会社 スターライトプロダクション 佐世保市千原町24番地 TEL 0956-76-9090

佐世保には味と戦う7人の開発戦士がいる

大和製菓の開発レンジャー  
しんいちろう

創業昭和35年。銘菓からスナック菓子まで、数々の商品を手掛ける大和製菓。しんいちろうは創業者の孫にあたり、商品開発及びデザイン、その他モロモロを担当する(ちなみに次男)



会社の顔は、ピリッ辛い味カレー。おじいちゃんがつくった、この全国的にも人気のスナック菓子を越える何かを作りたい。彼は日々奮闘しているのだ。

長崎と言った... そうだ!! 「ちやんぽん味」のお菓子をっくろ!!

まずは理想の味を求め食べ歩きだ!! 食べ歩きからスタートした

させば×しごと

そして何日も、食べ歩きの日々は続き... ついに理想の味に出会った

よし!! この味だ!! この野菜の甘味を再現してパイイスを開発するぞ

全部のスパイスを混ぜろ!!

もっとう野菜を煮込んだようなスパイスはないのか!

あーっ!! もうっ! ちやんぽん味だ!! 野菜を煮込んだようなスパイスはないのか!

結局、やっぱりあの味の再現はムリか?

断念

そして...

さっ!! とうかつ!! 佐世保と云ったら「レモンステーキ味」のスナック菓子に挑戦だ!!

また食べ歩きぞー!! よい見つけたこの味だ!!

一度は焼いたレモンの味を再現してくれ!!

断念

心が折れかけたある冬の日

もうすぐバレンタインか? チョココ!?

もうすぐバレンタインだね

よし!! イける!!!

一年後...

おそろおそろ直売所に置いてみる... なんと!!! 一年連続売り切れ

しんいちろうの挑戦はこれからもつづ...

させば  
×  
しごと

有限会社 トモハウス  
代表取締役 松本 智さん



「仕事がないから地方に住めない」  
なんてナンセンス。  
なければ、自分で作っちゃえ。

「トモさん」の愛称で親しまれている、建築事務所「トモハウス」社長・松本智さん。坂道や傾斜地の多いこのまちの条件の難しさを、斬新な発想と遊び心で利点に変えるのが得意。そうして安く購入できた土地で、住む人のライフスタイルに合った住まいづくりを提案してきた、佐世保の家づくりのパイオニアだ。

高校まで佐世保で過ごし、神戸や東京の大手建設会社に建築設計

士として働いてきたトモさん。企業戦士として充実した日々を送っていた30代前半、突如病に襲われ、療養生活を余儀なくされた。

「東京にいても仕事ができないから、一度田舎に帰ってしつかり体を治そう」と思ったんです。

後遺症が残ったものの体力は回復し、仕事を再開。だが、都会へは戻らず、故郷に新たなフィールドを求めた。その理由は、「ドライブ途中で理想郷に出会ったから」と笑顔で語る。



写真右:松本 聖さん

「マリンスポーツが大好きだったので、毎日海を眺めて暮らせるって最高だなと思ったんです」。

十九島が眼前に広がる船越町に住まいと事務所を構え、ことしで33年目。「帰郷した当時は仕事上の人脉は無かったし、都会での実績も通用しなかったからね」と当時を振り返り、ゼロから出発して今があるとトモさんは力強く語る。

積み木を積み上げるように小さな仕事でなんとか生活をつないできた過程では、「経済的に厳しくして、夫婦で泣いた日々もあったよ」と穏やかに笑う。

10年前には長男の聖さんも東京からUターンし、事務所のスタッフとして加わった。帰郷を決めたときの心境を伺うと、「佐世保を離れた時から、30歳を目安に故郷に戻ると決めていました。自分たちが手掛けの家や店舗を見た方が、建てるならトモハウスでと指名して下さるのが一番嬉しいですね」。



十九島が眼前に広がるトモさん自慢のバルコニーからの景色

### 西から上を目指せ

ジャパンアクアテックの製品は医療・スポーツ・養殖技術・大学の研究所・娯楽と各所にニーズがあり、その顧客は全国に広がる。この西の果てで不便ではないかと伺ったところ、先代から「この西から上を目指せ」と言われてきたそうだ。

この会社がある小佐々地域は海も近い。商談にわざわざ来てくれる全国各地の顧客にはやや気の毒だと感じながらも、こちらの魚介類は本当においしいと喜んでくれるそう。そして商圏は今や国内にとどまらず、中国をはじめとしたアジアに広がっている。アジアは東京より近いのだ。

させば  
×  
しごと



代表取締役の松尾重己さんは4代目。先代の血縁ではなく、そもそもは研究者だ。創業した社長は造船の設計・技術者だった。培った流体科学、つまり水の流れを普段の生活に生かせるか、との思いがあった。その思いと技術は今、日本中のさまざまな分野から注目されている。知る人ぞ知ることの会社に潜入してみると、色々とユニークなことが判明した。

「世界に一つのものを作ってます」

### 開発から製造まで一貫主義

ジャパンアクアテックはトレーニング用のプールや流水浴槽などを製造する、流水を専門とする会社だ。

松尾社長は研究者として入社後、しばらくして先代に認められ、右腕でもある音成専務とともに経営のことも教わるようになった。研究者自身が経営者でもあるので、動きもスピーディだ。

まず商談が早い。その場で客が望むことができるかできないか、研究者として答えられる。金額的な要素は経営者として答え、会社に持ち帰れば、現場に自分で指示できる。ただし社長いわく、現場からブライイングを受けることもしばしば。「そんなの無理です」というわけだ。まあそれほどこの会社は、研究から製造までの距離感が近い。皆が一丸となつてその商品を最後まで作り上げるのだから、やりがいは十分だ。一度は無理といても、どうすればいいのか皆で話し合えるというのは、ある意味うらやましい。

「部品を作るな、物を作れ」と  
言っています。



専務取締役 音成 直樹さん

### やる気が全て

この会社の面白いところはまあである。基本的にこの会社で作るものにはオーダー制で、今世の中にないものを作ったりする。「こういうことをしたいから、こういうものを作れないか」という相談から始まることが多い。そこで知恵を出し合い、ゼロから作り始める。そこで必要になってくるのは、「面白そう」というやる気だ。二人は言う。技術者や研究者だけでなく、やる気と得意分野がある人なら、きつとこの会社の力になってくれると感じているのだ。ちなみにここは年俸制、勤続年数ではなく、それぞれの活躍で毎年決まるという。これを聞いてやる気になった人ほど、この会社にはふさわしい人材だと言える。

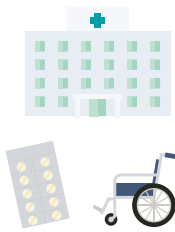
株式会社ジャパンアクアテック  
代表取締役 松尾 重己さん



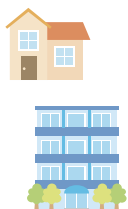
有名アスリートからの直接発注や、大学・病院との共同開発など、独自開発の技術は多岐に利用されている。

# させば暮らしを始めよう

佐世保での暮らしを検討する時に気になる項目の相談窓口をご紹介します。



▼医療機関は充実していますか？  
市内には病院や一般診療所が約200件、歯科診療所が約140件あります。  
また、県内3カ所目となる救命救急センターも開設され、北部九州では最も医療が充実したまちと言えます。



▼賃貸住宅の平均家賃はどのくらい？  
郊外や斜面地の家賃は比較的低価です。平地が少ないため、中心部付近は割高となっています。  
(例)3LDKマンションの場合  
中心部付近 約6万円、  
郊外・斜面地 約3.5万円、  
中古住宅をお探しの方は、空き家バンク(アドレス下記参照)で物件情報を提供していますのでご利用ください。



▼仕事はありますか？  
佐世保市ではU・J・Iターン希望者を対象に、専門相談員が就職あっせんや相談などを無料で行う「させばお仕事情報プラザ」を開設しています。  
させばお仕事情報プラザ  
☎0956・76・7713

▼移住して事業をはじめたい人への支援はありますか？  
情報サービスや製造業などの分野で創業する移住者を応援する「新規創業支援事業」などの創業支援や、新たに農業・漁業の担い手となる人への支援も行っています。まずはご相談ください。

市商工物産課(創業支援)  
☎0956・24・1111  
市農業畜産課・水産課(担い手支援)  
☎0956・24・1111



▼安心して子育てできますか？  
佐世保市では合計特殊出生率(15歳~49歳が生涯に出生する平均数)が1.82と、全国平均の1.43を大きく上回っています(平成25年)。保育所の待機児童数も平成17年以降は0人を維持。児童を預かる児童クラブは市内53カ所など、保育所や幼稚園のほかにサービスクが充実しています。  
このほか、市役所には保育コンシェルジュを置き、一人一人に保育所やサービスの紹介を行っています。  
また、0歳~中学生までの子どもの医療費の一部を助成する福祉医療費制度もあります。

佐世保にU・J・Iターンしたい方をサポートします



## 移住サポートデスク

佐世保市役所地域政策課内 移住サポートデスク  
〒857-8585 長崎県佐世保市八幡町1-10  
電話 0956-25-9251 平日 8時30分~17時15分  
ファックス 0956-25-9651 メール uj-i-turn@city.sasebo.lg.jp

## 首都圏での相談窓口

佐世保市東京事務所  
千代田区平河町2-4-1 日本都市センター会館11階  
電話 03-5213-9060 ファックス 03-5213-9063

## オンラインでも情報発信しています

- 佐世保移住サポート「99LIFE」 <http://www.city.sasebo.lg.jp/99life/index.html>
- させば暮らし(空き家バンク) <http://sasebo-kurashi.jp/>
- なかさき移住ナビ(長崎県移住支援サイト) <http://nagasaki-iju.jp/>
- 佐世保市ホームページ <http://www.city.sasebo.lg.jp/>



## ● 最上級の佐世保風尊敬語

● 共通語では ● 佐世保弁では ● その他尊敬語ではこう言います。

来た? → 来たらした? → 来たらしたぞ? (最上級)

尊敬語を友達や同僚にも普通に使います

ちなみに「来たらした」はPCや携帯では変換不可能...

## ● 本土最西端の街だから...

太陽が沈むのが遅いので夕方になっても明るい。特に夏なんかは、暗くなってからご飯の準備をしようと思っていたら7時過ぎになっちゃう...

## ● 午後はジャージだ!

中学校では、給食が終わると全員ジャージに着替える。文化部でもそのままだけに行き、帰りのそのままだ。子供達にも着替えなんて人気のシステム!

※その学校で実施されている訳ではありません

## ● 美人が多い街! さ・せ・ぼ!

ミス・ユニバース長崎代表は3年連続佐世保から輩出! そのうち2014年・2015年は2年連続日本代表に選ばれ世界の舞台上活躍!



右: 2015 ミス・ユニバース日本代表 宮本エリアナさん  
中央: 2014 ミス・ユニバース日本代表 辻 恵子さん  
左: 2013 ミス・ユニバース長崎代表 竹村佳倫さん

## ● 佐世保方言あるある!

注「さばく」=髪をとかすの意味。別に裁判にかけられる訳ではありません^^ (汗)